

配置案の再検討

1. 30年後の全体像

2. 配置案

●配置案②

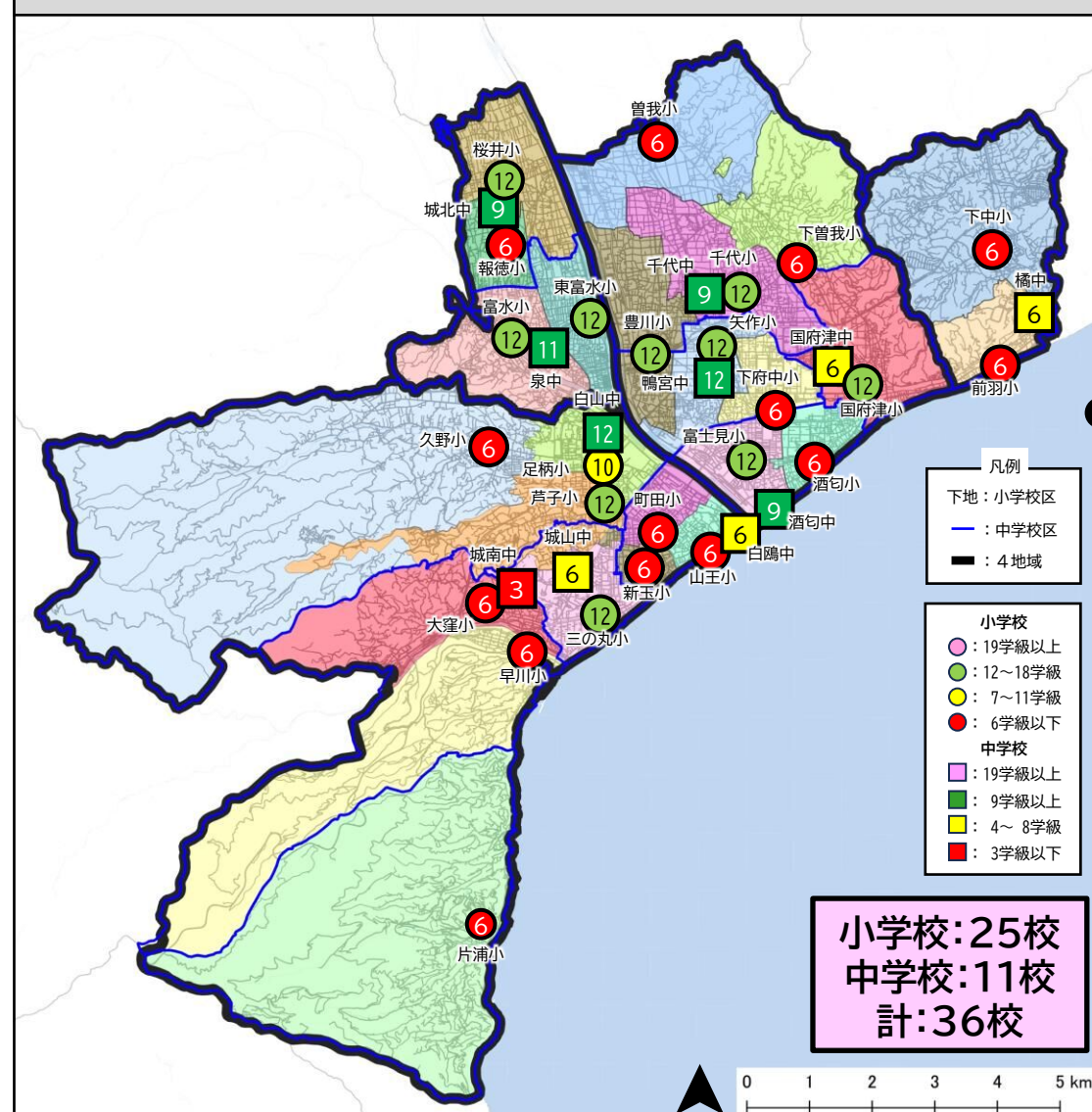
●配置案②´

<参考> 「まちづくり」と学校配置の関係について

1. 30年後の全体像

●30年後の全体像

ベース案（現状維持）（2055年度）



【配置案に関する検討委員会や関係部局の意見】

【検討委員会】

- ①小中一貫校を採用するなら市全体で行うべき
- ②市内で小中一貫校と通常の学校を設けて個性を出すべき

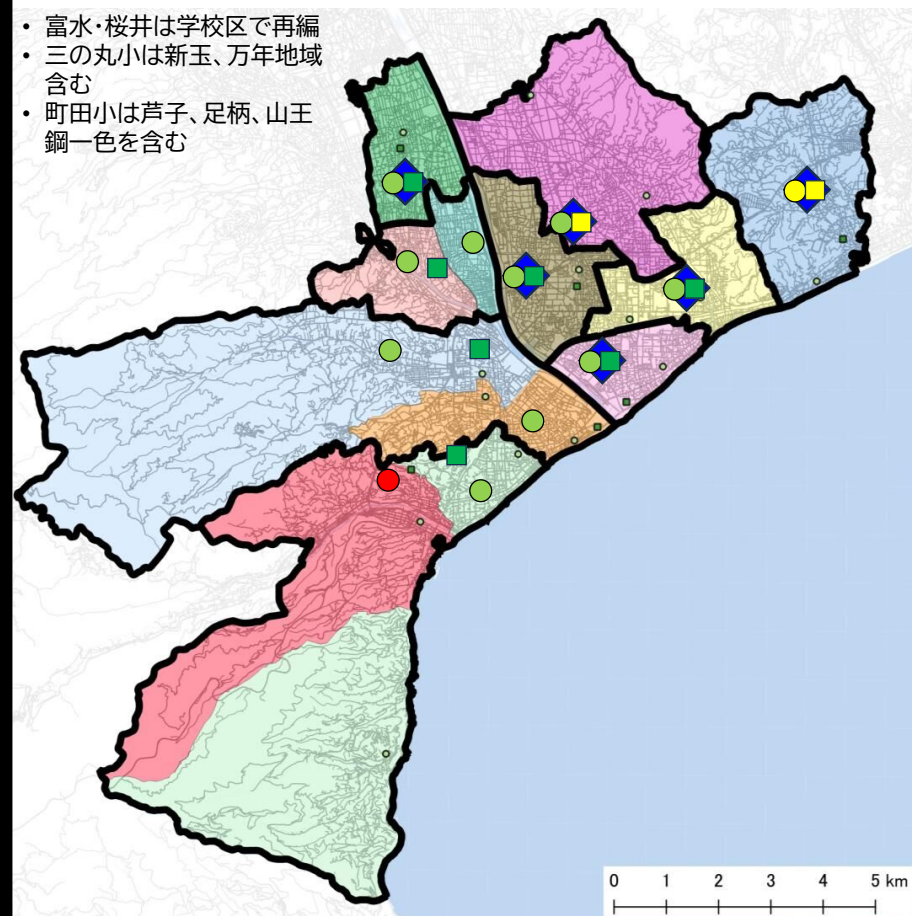
【関係部局】

- ①片浦小がなくなると、地域のコミュニティ拠点や避難所機能がなくなるので、小規模特認校としての評価を早く行うべき
- ②跡地活用の方向性も合わせて示すべきではないか

配置案

②

前提条件を
もとに、
可能な限り
小中一貫校を
採用した案



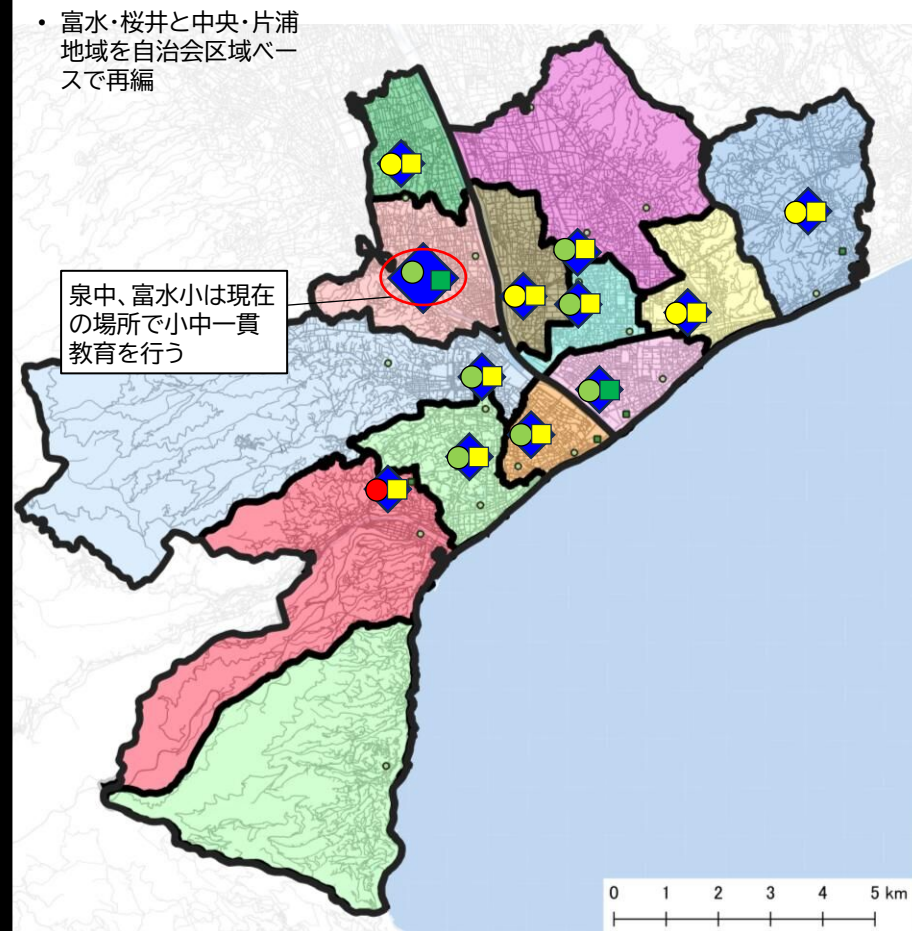
小学校：6校
中学校：3校
小中一貫校：6校
(小学校：6校)
(中学校：6校)
計：15校

【残る課題】
・市全体で小中一貫校とならない

配置案

②'

市全体で
小中一貫校を
採用した案

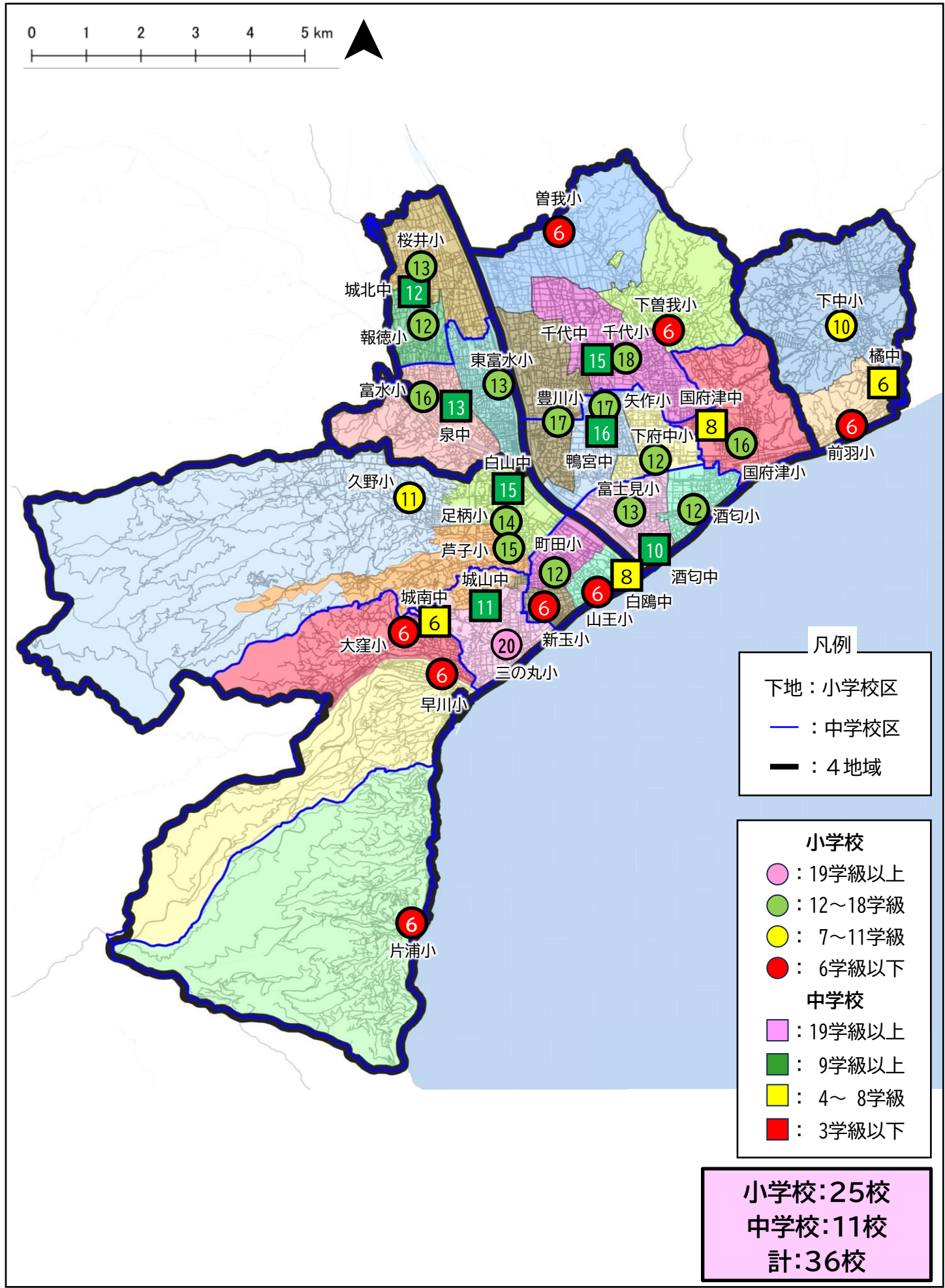


小中一貫校：13校
(小学校：12校)
(中学校：12校)

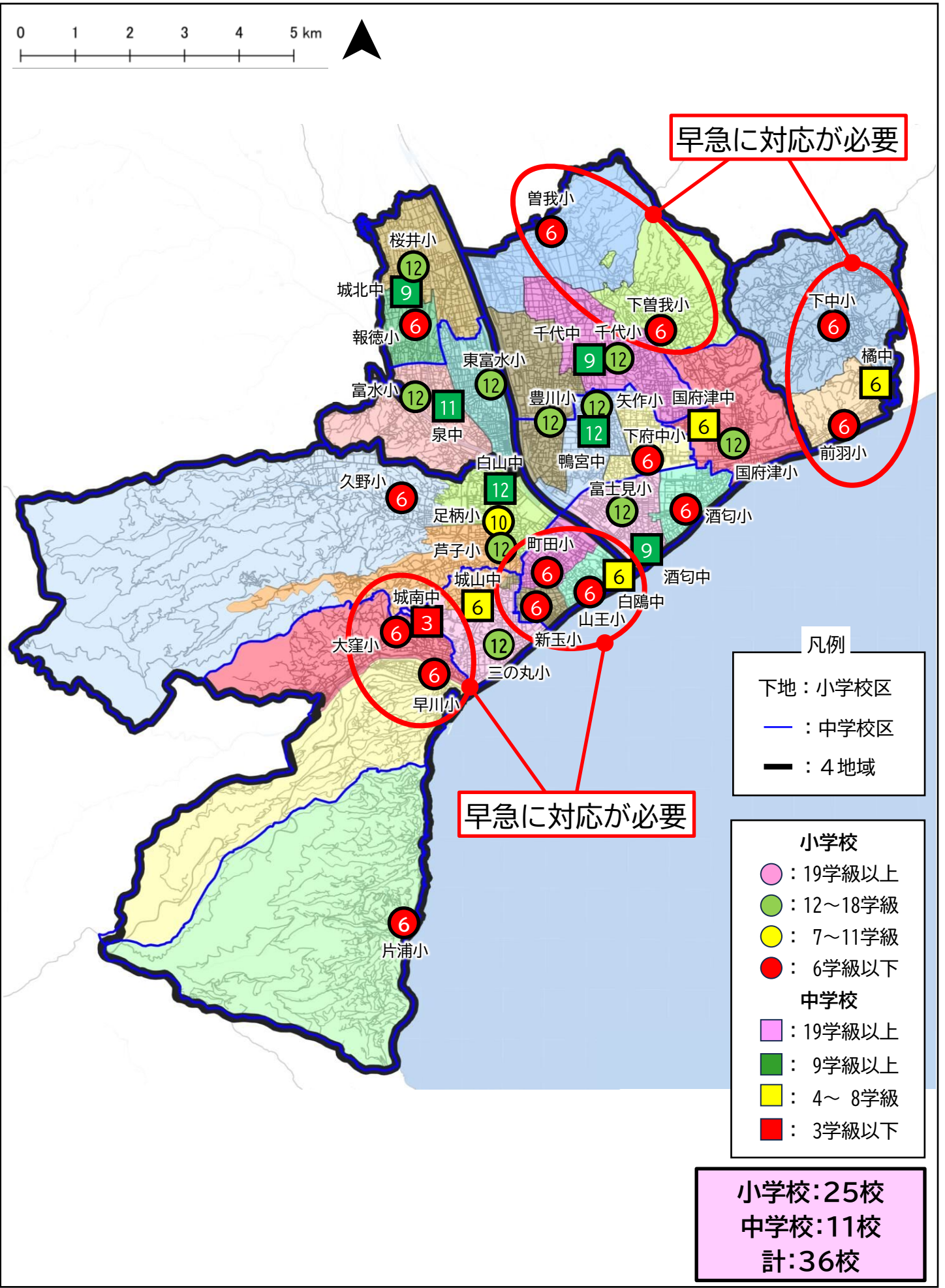
【残る課題】
・学級数の少ない学校が多く残る
・泉中・富水小は施設分離型

●現状と30年後の推計

現在（2025年度）



30年後（2055年度）

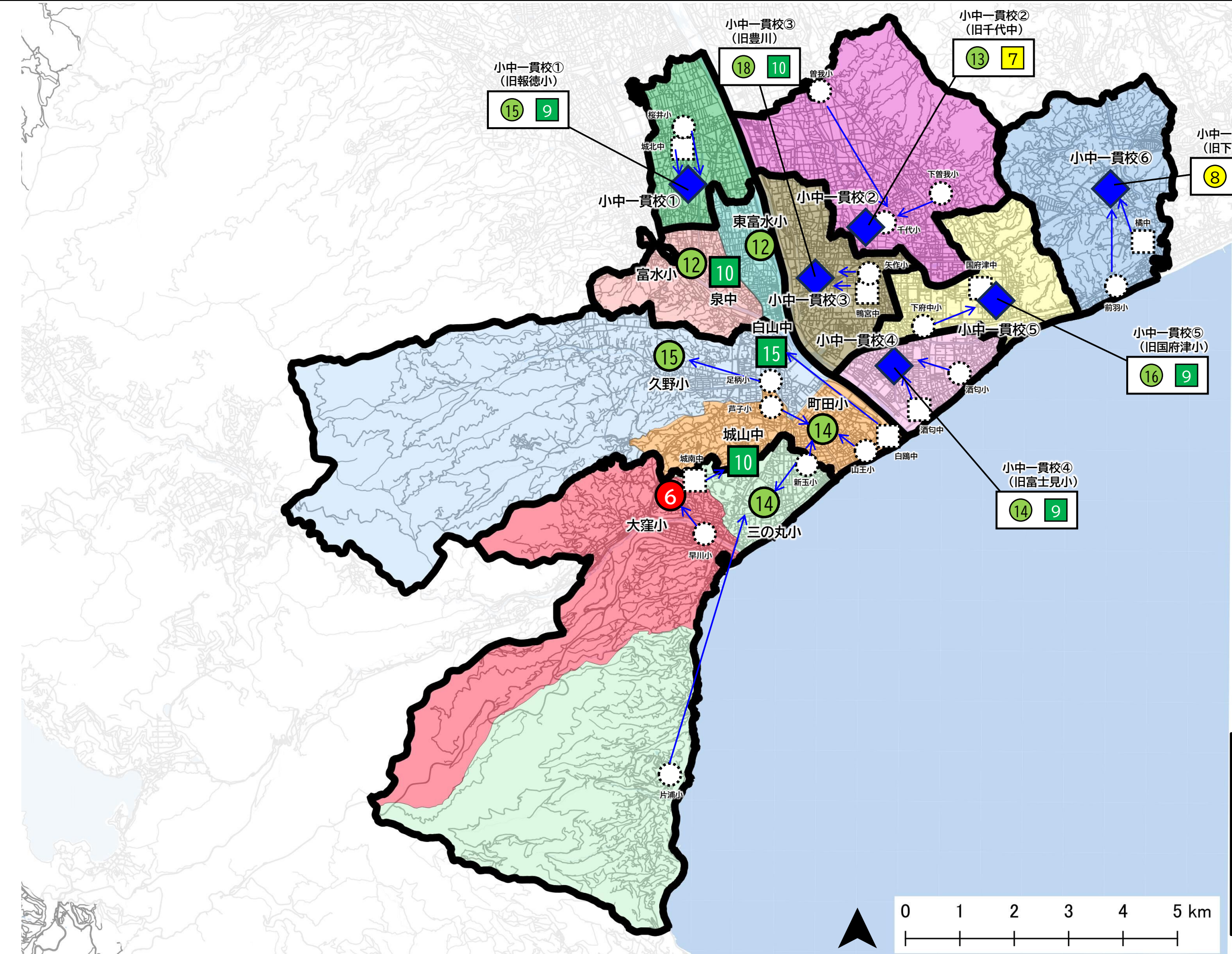


2. 配置案

●配置案検討

配置案②

(30年後)



凡例

下地：小学校区
—：中学校区

12 地図上は30年後 (R36) の学級数
12

小中学校の表示
12 12
小学校 中学校

●：小学校
■：中学校
◆：小中一貫校

小学校
●：19学級以上
●：12～18学級
●：7～11学級
●：6学級以下

中学校
■：19学級以上
■：9学級以上
■：4～8学級
■：3学級以下

小学校:6校
中学校:3校
小中一貫校:6校
(小学校:6校)
(中学校:6校)
計:15校

配置案②

※桜井小と報徳小の統合は学校同士の再編なので、自治会の整合が取れてない

計15校 (-21校)

配置案②

小学校：6校（-19校）
中学校：3校（-8校）
小中一貫校：6校

計15校（-21校）

配置案②

後半20年

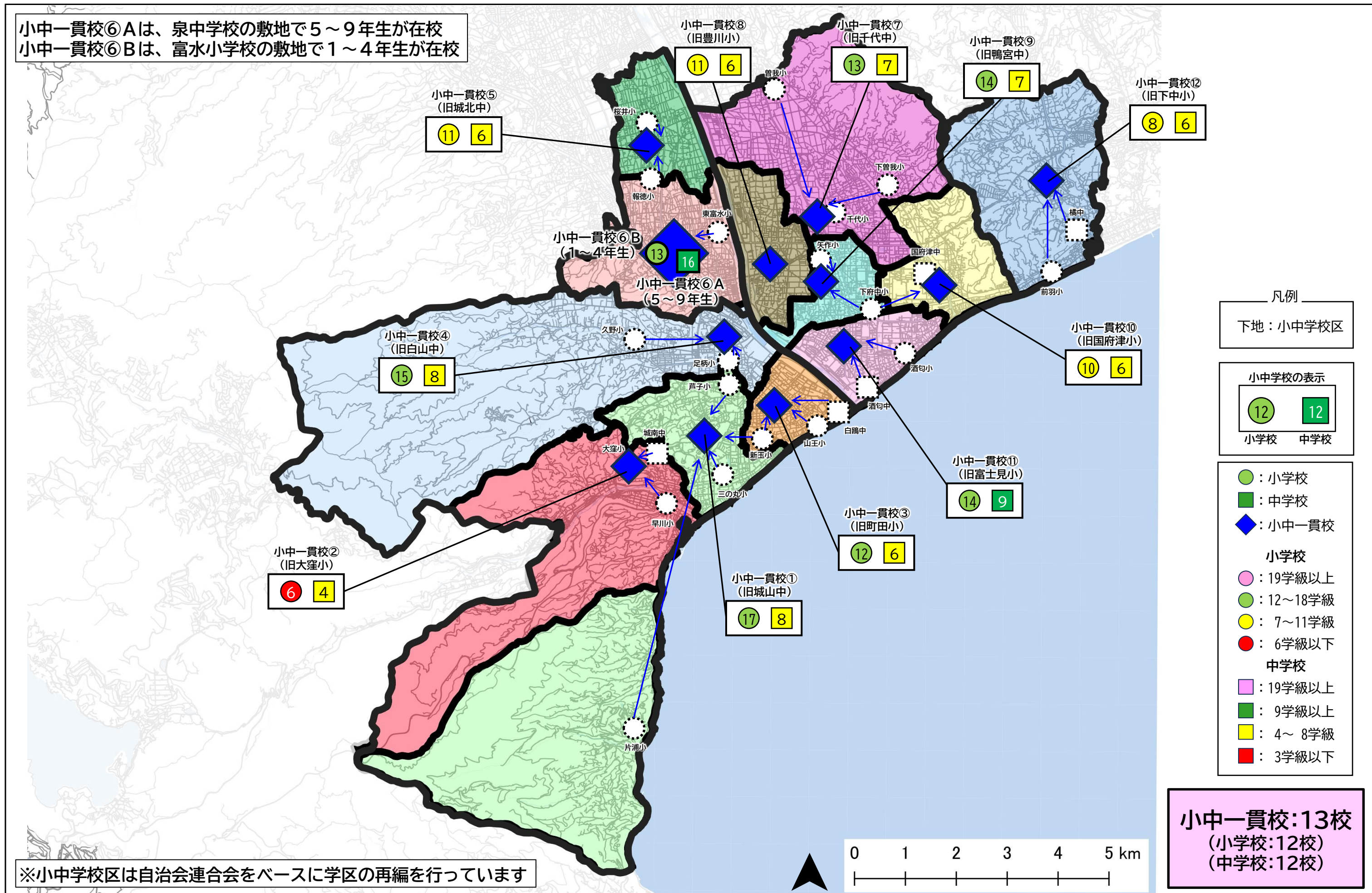
	改築基本設計 改築実施設計		改築
	改修基本設計 改修実施設計		改修

●配置案検討

配置案②：全校で小中一貫校を採用する案

(30年後)

小中一貫校⑥Aは、泉中学校の敷地で5～9年生が在校
小中一貫校⑥Bは、富水小学校の敷地で1～4年生が在校

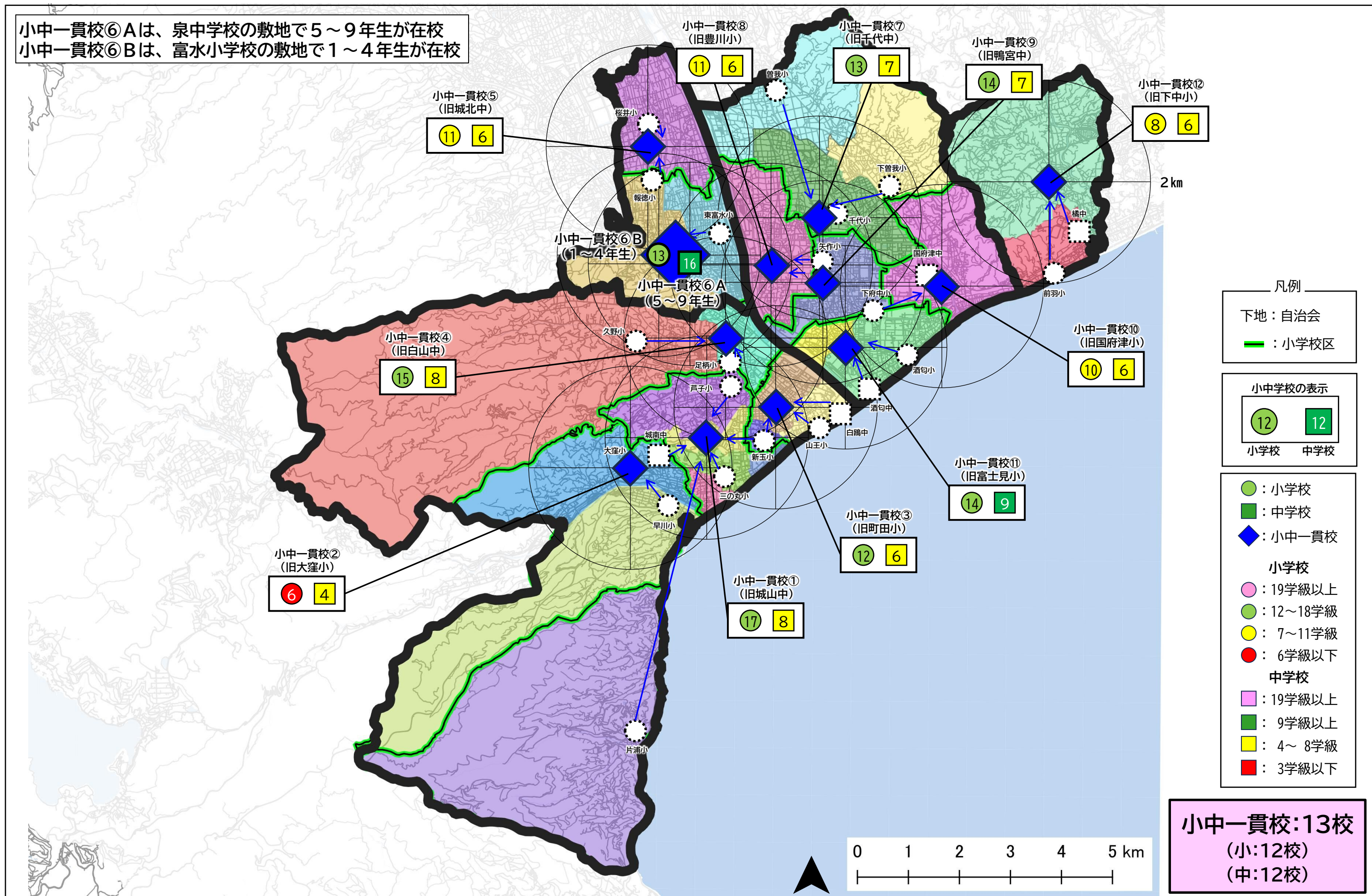


●配置案検討

配置案②：全校で小中一貫校を採用する案

(30年後)

小中一貫校⑥Aは、泉中学校の敷地で5～9年生が在校
小中一貫校⑥Bは、富水小学校の敷地で1～4年生が在校



小学校

中学校

<過小規模校>
6学級以下
3学級以下

<小規模校>
7～11学級
4～8学級

【現状】

地域	学校名	解消すべき課題											備考	
		①学級数推計					② ハザードの 解消が必要	③ 分散進学の 解消が必要	④ 最も遠い児童生徒の 通学距離が 小：2 km/中：4 km以上	⑤ 自治会の 不整合がある	⑥老朽化状況			
		現在 (2024)	10年後 (2034)	20年後 (2044)	30年後 (2054)	40年後 (2064)					建築年度 (西暦)	築年数		改築・改 修の時期 (西暦)
中央・片浦	城山中	11	8	9	7	6	●			●	1970	55	2040	②敷地の一部がレッドゾ ーン
	三の丸小	20	13	12	12	12				●	1995	30	2035	
	片浦小	6	6	6	6	6	●		●		1982	43	2062	②敷地の一部がレッドゾ ーン ④3.3km ※現在、小規模特認校
	城南中	6	3	3	3	3	●				1962	63	2032	②敷地の一部がレッドゾ ーン
	大窪小	6	6	6	6	6	▲		●		1993	32	2033	②敷地の一部がイエロ ーゾ ーン ④2.6km
	早川小	6	6	6	6	6	●		●		1963	62	2033	②河川浸食区域 ④2.5km
	白鷗中	8	7	9	6	6	●			●	1960	65	2030	②津波災害区域
	新玉小	6	6	6	6	6		●		●	1964	61	2034	③城山中・白鷗中
	山王小	6	6	6	6	6	●			●	1969	56	2039	②津波災害区域
	町田小	11	7	6	6	6				●	1966	59	2036	
	白山中	15	13	12	12	9			●	●	1956	69	2026	④4.5km
	足柄小	13	12	12	12	6	●			●	1972	53	2042	②河川浸食区域
	芦子小	16	12	12	12	12		●	●	●	1968	57	2038	③城山中・白山中 ④3.5km
	久野小	9	6	6	6	6			●	●	1972	53	2042	④5.5km

【配置案の概要】

建替え

長寿命化

再編後の学校	設置場所	再編する学校	再編年度	再編後の 学級数	30年後の 学級数 (2055年度)	整備時期	協議・ 移行期間	自治会 連合会
小中一貫校① (旧城山中)	城山中	城山中、三の丸小、 片浦小、芦子小（一部）	2038年度	小：18学級 中：8学級	小：17学級 中：8学級	2033～ 2037年度	2031～ 2037年度	緑、万年、幸、 十字、芦子、 片浦
小中一貫校② (旧大窪小)	大窪小	城南中、大窪小、早川小	2030年度	小：6学級 中：4学級	小：6学級 中：4学級	2026～ 2029年度	2027～ 2029年度	大窪、早川
小中一貫校③ (旧町田小)	町田小	白鷗中、新玉小、新玉小、 山王小、町田小（一部） 足柄小（一部）	2034年度	小：13学級 中：7学級	小：12学級 中：6学級	2029～ 2033年度	2027～ 2033年度	新玉、足柄、 山王網一色
小中一貫校④ (旧白山中)	白山中	白山中、久野小、 芦子小（一部） 足柄小（一部） 町田小（一部）	2046年度	小：17学級 中：9学級	小：15学級 中：8学級	2041～ 2045年度	2039～ 2045年度	久野、二川

小学校

中学校

<過小規模校>
6学級以下
3学級以下

<小規模校>
7～11学級
4～8学級

【現状】

地域	学校名	解消すべき課題											備考	
		①学級数推計					② ハザードの 解消が必要	③ 分散進学の 解消が必要	④ 最も遠い児童生徒の 通学距離が 小：2 km/中：4 km以上	⑤ 自治会の 不整合がある	⑥老朽化状況			
		現在 (2024)	10年後 (2034)	20年後 (2044)	30年後 (2054)	40年後 (2064)					建築年度 (西暦)	築年数		改築・改 修の時期 (西暦)
富水・桜井	泉中	13	12	15	12	9				●	1966	59	2036	
	富水小	17	18	16	12	12				●	1965	60	2035	
	東富水小	13	12	12	12	12				●	1969	56	2039	
	城北中	12	11	9	9	9				●	1974	51	2044	
	桜井小	12	12	12	12	12				●	1966	59	2036	
	報徳小	12	8	6	6	6				●	1976	49	2046	

【配置案の概要】

建替え

長寿命化

再編後の学校	設置場所	再編する学校	再編年度	再編後の 学級数	30年後の 学級数 (2055年度)	整備時期	協議・ 移行期間	自治会 連合会
小中一貫校⑤ (旧城北中)	城北中	城北中、桜井小、報徳小	2042年度	小：12学級 中：6学級	小：11学級 中：6学級	2037～ 2041年度	2035～ 2041年度	桜井
小中一貫校⑥A (旧泉中)	泉中	泉中、 富水小（5～6年生） 東富水小（5～6年生）	2034年度	5～9年生 20学級	5～9年生 16学級	2029～ 2033年度	2027～ 2033年度	富水、東富水
小中一貫校⑥B (旧富水小)	富水小	富水小（1～4年生） 東富水小（1～4年生）	2038年度	1～4年生 16学級	1～4年生 13学級	2033～ 2037年度	2031～ 2037年度	富水、東富水

小学校

中学校

<過小規模校>
6学級以下
3学級以下

<小規模校>
7～11学級
4～8学級

【現状】

地域	学校名	解消すべき課題											備考	
		①学級数推計					② ハザードの 解消が必要	③ 分散進学の 解消が必要	④ 最も遠い児童生徒の 通学距離が 小：2 km/中：4 km以上	⑤ 自治会の 不整合がある	⑥老朽化状況			
		現在 (2024)	10年後 (2034)	20年後 (2044)	30年後 (2054)	40年後 (2064)					建築年度 (西暦)	築年数		改築・改 修の時期 (西暦)
川東	千代中	15	13	9	9	9				●	1978	47	2048	
	千代小	18	13	12	12	12					1969	56	2039	
	下曽我小	6	6	6	6	6					1989	36	2029	
	曽我小	6	6	6	6	6					1974	51	2044	
	豊川小	17	12	12	12	12		●		●	1982	43	2062	③鴨宮中・千代中
	鴨宮中	15	15	15	12	12				●	1960	65	2030	
	下府中小	12	12	12	6	6				●	1978	47	2048	
	矢作小	18	13	12	12	12	●		●	●	1972	53	2042	②河川浸水区域 ④2.3km
	酒匂中	12	11	12	9	9	●			●	1982	43	2062	②津波災害区域
	酒匂小	12	8	12	6	6				●	1972	53	2042	
	富士見小	14	16	14	12	12				●	1984	41	2064	
	国府津中	9	6	6	6	6				●	1980	45	2050	
	国府津小	15	12	12	12	12			●	●	1969	56	2039	④2.1km

【配置案の概要】

建替え

長寿命化

再編後の学校	設置場所	再編する学校	再編年度	再編後の 学級数	30年後の 学級数 (2054年度)	整備時期	協議・ 移行期間	自治会 連合会
小中一貫校⑦ (旧千代中)	千代中	千代中、千代小、曾我小、 下曾我小	2042年度	小：14学級 中：7学級	小：13学級 中：7学級	2037～ 2041年度	2035～ 2041年度	上府中、曾我、 下曾我
小中一貫校⑧ (旧豊川小)	豊川小	鴨宮中（一部） 豊川小	2031年度	小：14学級 中：8学級	小：11学級 中：6学級	2027～ 2030年度	2025～ 2030年度	豊川
小中一貫校⑨ (旧鴨宮中)	鴨宮中	鴨宮中（一部） 矢作小、 下府中小（一部）	2034年度	小：16学級 中：9学級	小：14学級 中：7学級	2029～ 2033年度	2027～ 2033年度	下府中
小中一貫校⑩ (旧国府津小)	国府津小	国府津中、 国府津小、 下府中小（一部）	2042年度	小：11学級 中：6学級	小：10学級 中：6学級	2037～ 2041年度	2035～ 2041年度	国府津
小中一貫校⑪ (旧富士見小)	富士見小	酒匂中、酒匂小、 富士見小	2038年度	小：19学級 中：9学級	小：14学級 中：9学級	2034～ 2037年度	2032～ 2037年度	富士見、 酒匂・小八幡

小学校

中学校

<過小規模校>

6学級以下
3学級以下

<小規模校>

7～11学級
4～8学級

【現状】

地域	学校名	解消すべき課題											備考	
		①学級数推計					② ハザードの 解消が必要	③ 分散進学の 解消が必要	④ 最も遠い児童生徒の 通学距離が 小：2 km/中：4 km以上	⑤ 自治会の 不整合がある	⑥老朽化状況			
		現在 (2024)	10年後 (2034)	20年後 (2044)	30年後 (2054)	40年後 (2064)					建築年度 (西暦)	築年数		改築・改 修の時期 (西暦)
橘	橘中	6	5	6	6	3	▲				1966	59	2036	②敷地の一部がH10ゾーン
	前羽小	6	6	6	6	6					1986	39	2026	
	下中小	9	6	6	6	6					1981	44	2051	

【配置案の概要】

建替え

長寿命化

再編後の学校	設置場所	再編する学校	再編年度	再編後の 学級数	30年後の 学級数 (2054年度)	整備時期	協議・ 移行期間	自治会 連合会
小中一貫校⑫ (旧下中小)	下中小	橘中・下中小・前羽小	2034年度	小：7学級 中：3学級	小：6学級 中：8学級	2030～ 2034年度	2028～ 2034年度	下中・前羽

配置案②

小中一貫校：13校
(小学校：12校)
(中学校：12校)
計13校 (-23校)

配置案②

小中一貫校：13校
(小学校：12校)
(中学校：12校)
計13校 (-23校)

●整備スケジュール

配置案②

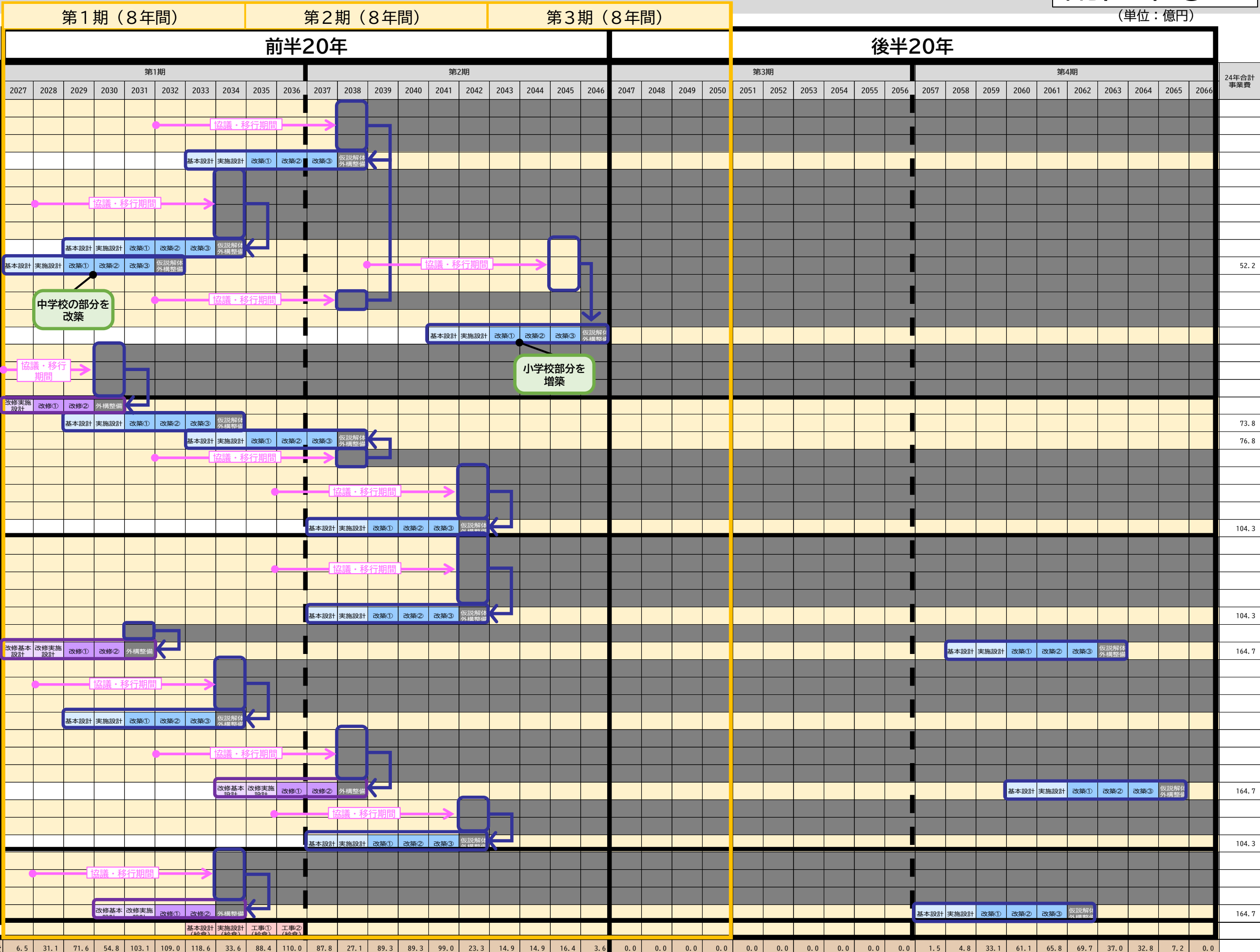
(単位：億円)

中央・片浦地域

富水・桜井地域

川東地域

橘地域



小中一貫校：13校 (小学校：12校) (中学校：12校) 計13校 (-23校)	2027～2034年 726.8億円 (90.8億円/年)		2037～2044年 465.5億円 (58.2億円/年)		2047～2054年 0億円 (0億円/年)		2057～2066年 313億円 (31.3億円/年)	
	40年間合計 1505.3億円 (62.7億円/年)						改築基本設計 改築実施設計 改修基本設計 改修実施設計 改築 改修	
	第1期合計 528.4億円 (22億円/年)	第2期合計 614.2億円 (25.6億円/年)	第3期合計 49.7億円 (2.1億円/年)					
	24年間合計 1192.3億円 (49.7億円/年)							

<参考>「まちづくり」と学校配置の関係について

再編案②（検討中）：小中一貫型小・中学校（併設型）（市の再検討案）都市計画と学校配置の状況

（30年後）

小中一貫校⑥Aは、泉中学校の敷地で5～9年生が在校
小中一貫校⑥Bは、富水小学校の敷地で1～4年生が在校

●残る学校

【都市機能誘導区域】

小中一貫校⑩（旧国府津小）

【居住誘導区域】

小中一貫校①（旧城山中）
小中一貫校②（旧大窪小）
小中一貫校③（旧町田小）
小中一貫校④（旧白山中）
小中一貫校⑤（旧城北中）
小中一貫校⑥A（旧泉中）
小中一貫校⑧（旧豊川小）
小中一貫校⑨（旧鴨宮中）
小中一貫校⑪（旧富士見小）
小中一貫校⑫（旧下中小）

【市街化区域】

小中一貫校⑥B（旧富水小）

【市街化調整区域】

小中一貫校⑦（旧千代中）

●跡地について

【都市機能誘導区域】

三の丸小、新玉小、桜井小、
下府中小

【居住誘導区域】

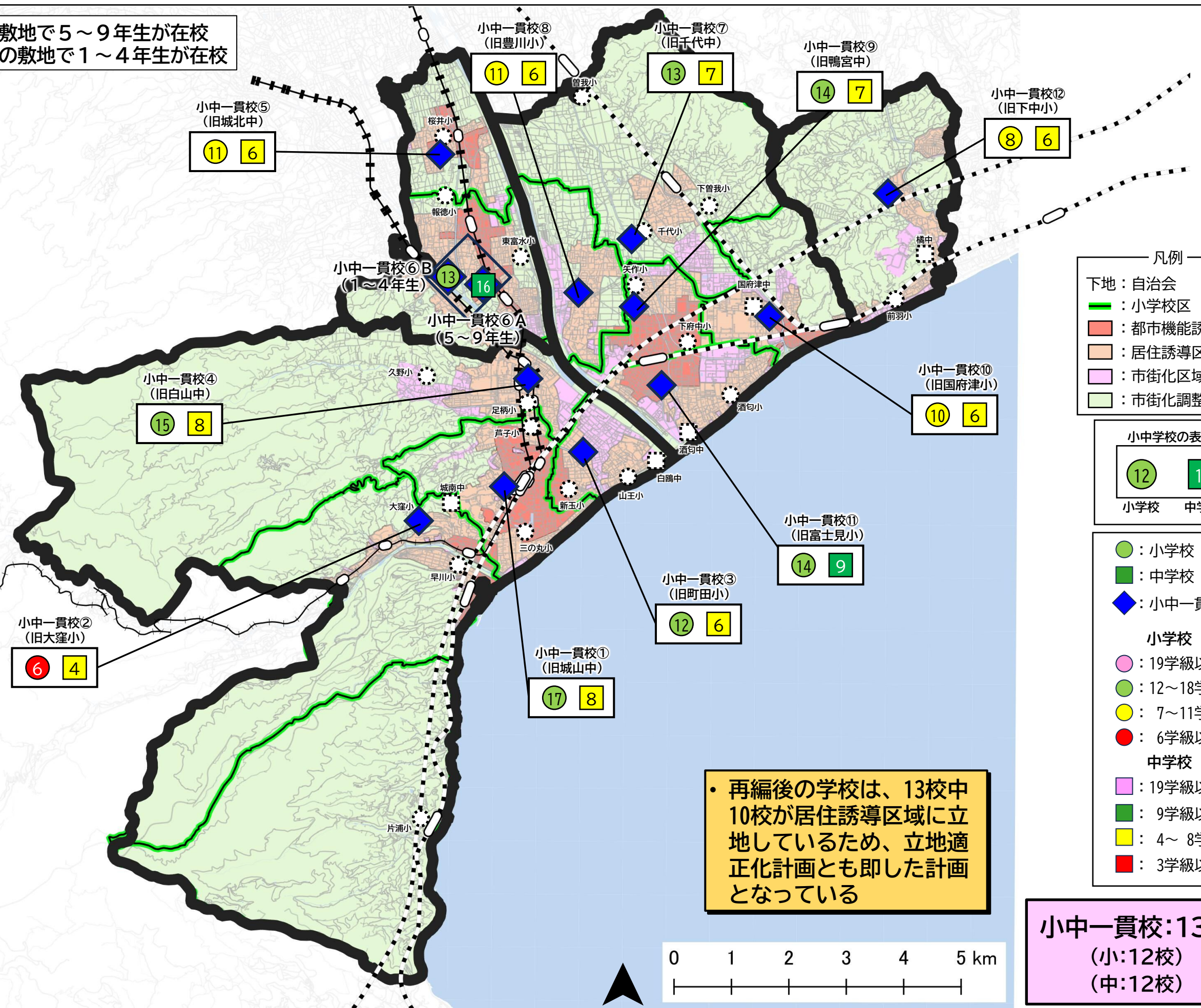
早川小、山王小、芦子小、
足柄小、酒匂小、矢作小、
城南中、国府津中、橘中

【市街化区域】

前羽小、白鷗中、酒匂中

【市街化調整区域】

片浦小、久野小、報徳小、
東富水小、千代小、曾我小、
下曾我小



小中一貫校：13校
(小：12校)
(中：12校)